
いずれ改善されるであろう執筆システムについて

コロネギ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

いずれ改善されるであろう執筆システムについて

【Nコード】

N1601T

【作者名】

コロネギ

【あらすじ】

さて、前回は誤って短編小説として投稿してしまったが、あえて残しておくとして、今回からは気が向けば更新できる連載型である。読者として調査した。

書き手である皆さまの参考になるかはわからないが、本サイトのシステムを気が向くままに調べていきたい。

ルビの調査1（前書き）

下書きのはずだったものをたまた間違えて投稿します。

ルビの調査1

ちよつとお試し

コズモ・エンテレケイア
完全なる世界

やまだ
山田

完・全・

教えてもらって試してみた○を用いてルビを試行。
結構、楽だ。

さて、本題である。

今回は、強調したいときによく用いられる黒点を調査した。

あいうえお（・・・・・・・・）↑○を使用

あいうえお↑―《》を使用

愛・情
↑○を使用

愛・情
↑○を使用

愛・憎・劇
↑○を使用

愛・憎・劇（・・）↑○を使用

愛・憎・劇
↑―《》を使用

相・思・相・愛

↑ 一《》を使用

最大公約数

↑ 一《》を使用

一南無阿弥陀仏《・

・・・・・》

↑ 一《》を使用

情・熱・思・想・理・念・頭・脳・気・品

↑ ○を使用

情・熱・思・想・理・念・頭・脳・気・品（・

・・・・・・・・・・・）

↑ ○を使用

情・熱・思・想・理・念・頭・脳・気・品

↑ 一《》を使用

一情・熱・思・想・理・念・頭・脳・気・品《・

・・・・・・・・・・・

《↑ 一《》を使用

しかし、あれだ。

やってみてわかるけれど、黒点は使いにくいね。

一文字としては余りにも小さい。半角くらいの判定のようだ。

しかも、○を用いてルビを振る時、平仮名のみだと適応されないようだ。

また、点と点の間にスペースを入られるのも一度だけ。

漢字オンリーの場合でも、スペースは一度しか入力できない。

つまり、三文字連続で漢字が続く場合は、正しく表示されない。

一《》の場合。

こちらは平仮名でもルビが表示されるが、やはりスペース使用は一度だけ。

漢字オンリーの場合だと、五連続まで有効。

つまり、スペースは四回使用できる。

六文字連続は不可。

五文字おきにルビを置くと違和感なく使用できるようだ。

やはり、面倒である。

次に、漢字仮名交じり文にカタカナのルビを振る場合を想定した

調査を行いたい。

分かりやすいのは必殺技や組織名、『王の財宝』や『完全なる世界』、『一方通行』など。

これらには、それぞれ「ゲート・オブ・バビロン」「コズモエンテレケイア」「アクセラレータ」のルビが振られているが、問題はそのルビの位置だ。

書き手に回ったことのある人はもちろん、読み手の人もご存じのとおおり、このサイトでルビを用いた時、望んだ位置というか、全体に散らばってほしいのに右に偏っていたり左に偏っていたりすることがしばしばである。そこで、いい感じで全体に散らばるルビの振り方をご紹介します。

例1…名詞全体を挟む ” 一名詞 《》 ” ↑こんな感じ

ゲート・オブ・バビロン
王の財宝

コズモエンテレケイア
完全なる世界

アクセラレータ
一方通行

例2…『』のような記号内の名詞のみを挟む ” 『一名詞 《》』 ”

↑こんな感じ

ゲート・オブ・バビロン

『王の財宝』

コズモエンテレケイア

『完全なる世界』

アクセラレータ

『一方通行』

例3…記号も含めて名詞を挟む ” — 『名詞』 《》 ” ↑こんな感じ

ゲート・オブ・バビロン

『王の財宝』

コズモエンテレケイア

『完全なる世界』

アクセラレータ

『一方通行』

例4…記号の左側と名詞を挟む ” — 『名詞 《》』 ” ↑こんな感じ

ゲート・オブ・バビロン

『王の財宝』

コズモエンテレケイア
『完全なる世界』
アクセラレータ
『一方通行』

例5…記号の右側と名詞を挟む ” 『一名詞』
ゲート・オブ・バビロン
『王の財宝』
コズモエンテレケイア
『完全なる世界』
アクセラレータ
『一方通行』

以上

ルビの調査1（後書き）

これだけで改善されるかもしれませんが（平仮名でも多分可能）。この方法でも変わらなかった場合、多分、文の構成によってルビの配置に影響が及ぶのだと愚考します。

私は書いたことが無いので、実際にルビの配置が変わった時の一文を教えて頂ければ私にできる範囲で検証してみたいと考えております。

漢字の上に漢字を振ることは可能なのだろうか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1601t/>

いずれ改善されるであろう執筆システムについて

2011年10月7日21時21分発行